

都市構造可視化の普及活動

～整備局としての立場として何ができるか？～



沖縄総合事務局

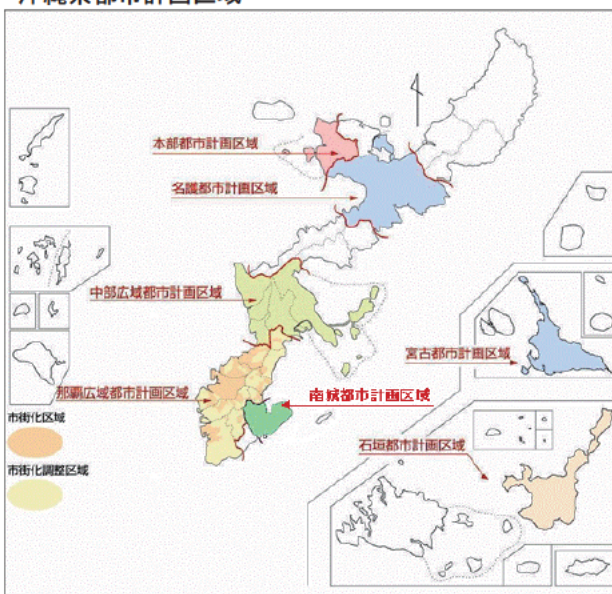
i-都市交流会議2020

1

1. 沖縄県の都市概要

- ・沖縄は複数離島から構成されており、市町村単位が小さい
- ・都市部の周辺の「町」「村」へも市街化が拡大

沖縄県都市計画区域



出典：沖縄県HPより

i-都市交流会議2020

1970年人口分布



2015年人口分布

市街地が拡大



2

2. 沖縄の都市整備の課題

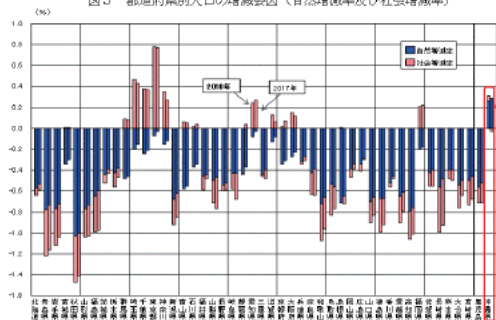
- ・人口増加が続いているため、将来の減少への危機感が薄い
- ・立地適正化計画の策定済み市町村が「0」
- ・市街地近くにも米軍基地があり、まちづくりの課題になることがある

表2 都道府県別人口増減率

人口増減率	都道府県	人口増減率	都道府県	人口増減率	都道府県	人口増減率	都道府県
1	北海道	0.22	0.18	16	静岡県	-0.44	-0.33
2	青森県	0.22	0.18	17	三重県	-0.46	-0.48
3	岩手県	0.22	0.18	18	岡山県	-0.47	-0.39
4	秋田県	0.22	0.18	19	熊本県	-0.48	-0.50
5	山形県	0.22	0.18	20	茨城県	-0.52	-0.43
6	福島県	0.22	0.18	21	新潟県	-0.52	-0.50
7	宮城県	0.22	0.18	22	佐賀県	-0.55	-0.55
8	千葉県	0.22	0.18	23	徳島県	-0.56	-0.46
9	東京都	0.22	0.18	24	香川県	-0.56	-0.48
10	埼玉県	0.22	0.18	25	高知県	-0.58	-0.67
11	茨城県	0.22	0.18	26	福岡県	-0.59	-0.49
12	栃木県	0.22	0.18	27	佐賀県	-0.60	-0.59
13	群馬県	0.22	0.18	28	奈良県	-0.63	-0.65
14	山梨県	0.22	0.18	29	和歌山県	-0.65	-0.59
15	長野県	0.22	0.18	30	徳島県	-0.70	-0.71
				31	山梨県	-0.71	-0.77

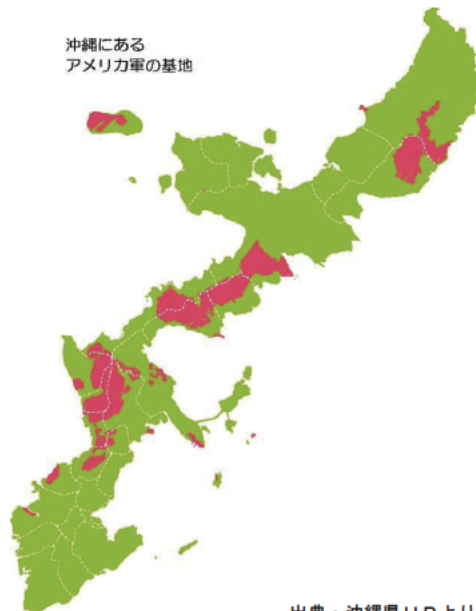
(注) 人口増減率(%) = $\frac{\text{人口増減(前年10月1日現在人口)}}{\text{前年10月1日現在人口}} \times 100$

人口増減 = 自然増減 + 社会増減



出典：総務省統計局HPより

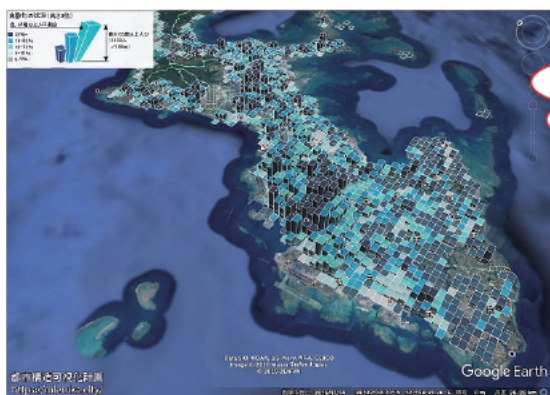
沖縄にある
アメリカ軍の基地



出典：沖縄県HPより

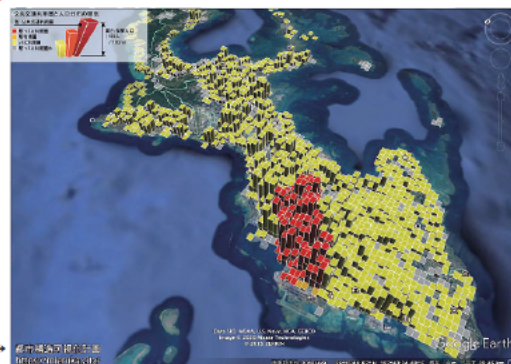
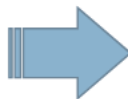
3. 都市構造可視化研修で感じたこと

- ・都市部の拡大を実感しやすい
- ・まちづくり以外のソフト施策へ反映できる
- ・可視化ツールを有効に使えるのは、自分たちではなく市町村では？



1 高齢者の状況

高齢者が多く、公共交通機関のない所にコミュニティバス等のルートを設定するには…などの検討に使える？



公共交通利用圏と人口分布の関係

4. 可視化ツールを有効活用するには？

- ・市町村への都市構造可視化の知名度が低い
→知ってもらうにはどうしたらいいか？

＜沖縄総合事務局の課題＞

- ・まちづくり相談会等を実施していない
- ・立地適正化などの相談が少ない



市町村へ紹介する機会が少ない(X_X;)



では、こちらから出かけよう！

営業方法①：可視化研修会の情報提供希望自治体へ紹介

営業方法②：知り合いの職員を通じて自治体へ紹介

営業方法③：来局市町村へ紹介し、その後市町村での説明会を実施

i-都市交流会議2020

5

5. 都市構造可視化の紹介営業活動①

- ・可視化研修の情報提供のみ希望の自治体へ紹介
- ・知り合い等を通じて、市町村への紹介
→実際に操作してもらうと興味を持ってもらえるが、アポ取り時点では胡散臭いと思われる印象 (-_-;)
→内容がわからないので、アポ取りした課職員のみでの参加
- ・相談や委員会事前説明等で来局の自治体へ紹介し、後日、改めて自治体で説明会を開催
→イメージを掴んでからの開催のため、幅広い課からの参加



3人に紹介したら、
説明会は10人に
増えた！



都市構造可視化では、

- ・統計データの三次元表示
 - ・経年変化アニメーション
 - ・色と高さによるクロス表示
 - ・ストリートビューによる確認
 - ・複数都市の一括表示
- などできます

沖縄版のデモ動画があれば説明しやすい！
(セントラルコンサルタント様 本当に助かりました)



i-都市交流会議2020

6

6.都市構造可視化の紹介営業活動②

<自治体へ紹介時の課題>

- ・ 市町村ではグーグルアースが使えない事が多く、紹介後に活用することが難しい
- ・ 自治体が望むデータがない場合に、沖総局が窓口となって作成を考えた場合に必要なデータ形式が分からない

- 複数の自治体が必要なデータは、まちづくりの切り口になる？
- 自治体で保有しているデータ形式がそのまま活用できるのか、加工が必要なのか判断がつかない。

今後は有効な使い方やデータ拡充などの支援を考えていきたい

<おまけ>

- ・ 普段市町村と接する機会の多い国道事務所へも紹介
→活用してもらえれば、市町村が目にする機会がある？
→交通量データなどを加工可能なデータで提供してもらえる？

i-都市交流会議2020



沖縄総合事務局の紹介

設置：昭和47年5月15日（本土復帰と同時に）

役割：沖縄の振興開発を一元的、効率的に推進するため、沖縄開発庁の地方支分部局として設けられた国の総合出先機関（各省庁の地方支分部局）

平成13年1月6日の省庁再編により、内閣府の地方支分部局として再編

開発建設部は、国土交通省の地方整備局が所掌する事務を実施する組織



↑首里城（火災後の状況）
首里城公園の利用区域をR1、12月より拡大しております



↑新川ダム



←国道58号浦添北道路

i-都市交流会議2020